2024年度

外国人留学生入学試験要項

音楽学部

武蔵野音楽大学

本学を志す皆さんへ

武蔵野音楽大学は、建学の精神を「**〈和〉のこころ**」と定め、それに基づいて「**音楽芸術の研鑽（けんさん）**」と「**人間形成**」を教育の方針としています。

音楽を専門として志す者は広い知識を身につけ、たゆまぬ努力を続けて、もてる才能を常に磨かなければなりません。もちろん一人の人間として礼節を守り、自己に対して厳しく、協調性ある円満な人格が求められます。

真の音楽芸術は、その者の総合的な人間性が技量を通して表現されるものであって、安易な模倣や技巧のみへの偏重は、芸術とは言えないからです。

本学を志す皆さんは、《CAMPUS GUIDE 2024》を参考に、下記の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）をよく理解したうえで受験されるよう希望します。

武蔵野音楽大学は、本学の教育理念に共鳴し、本学での研鑽を望まれる皆さんを心から歓迎します。

武蔵野音楽大学では、建学の精神および教育方針に基づき、入学に際して求めている学修意欲と能力をアドミッション・ポリシーに定めています。そして、この方針に則り、公正かつ妥当な入学者選抜を行い、国内外から広く学生を受け入れています。

アドミッション・ポリシー

＜外国人留学生入学試験＞

武蔵野音楽大学の建学の精神「〈和〉のこころ」、および教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に共感する以下のような学修意欲と能力を備えた者を、学科（専攻）別試験、面接等による入学試験によって選抜します。

1　本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者。
2　音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲のある者。
3　専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力を備えた者。

アドミッション・ポリシーと試験科目との関連性

入学試験に際し、「日本語作文」の提出と「面接」を課しており、これらを通して、アドミッション・ポリシーに定めている「本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者」について確認しています。また、「音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲」は「面接」や「課題小論文」、「口頭試問」、「日本語作文」等を通して確認しています。そして、「専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力」については、演奏学科においては「専攻実技」、「面接」等により、音楽総合学科においては「実技」、「課題小論文」、「英文和訳」、「口頭試問」、「面接」等により、それぞれ審査し、評価しています。

第３年次入学志願者には学部第３年次からの学修に必要な学修意欲と能力を求めていますので、相応の水準で前述の試験により審査しています。

外国人留学生入学試験では、本学を志願した理由、留学終了後の進路等について述べた「日本語作文」および学修に必要となる程度の日本語能力を、日本語による「面接」により確認しています。

入学前に共通して身につけておくことが期待される知識や能力等

・楽典や音楽理論の基礎的な知識
・ソルフェージュの基礎的な能力（歌う、聴く、読む、書く）
・英語４技能（読む、聞く、話す、書く）についての基礎的な力
・音楽・芸術文化について思考する力、判断する力、表現する力
・主体性をもって多様な人々と協働して学修する態度
・日本語や日本事情などを主体的に学修する意欲

入学者に求める各学科・コースの専攻の学修に必要な意欲と能力

【演奏学科】

《器楽コース》

<有鍵楽器専修ピアノ専攻>

ピアノ独奏の学修に加え、伴奏・室内楽などのさまざまな演奏形態や、楽曲とその背後にある文化や歴史を学修し、豊かな表現力と演奏技術を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。ピアノ専攻者の学修には、ピアノの基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

<有鍵楽器専修オルガン専攻>

オルガン独奏の学修に加え、楽曲とその背景にある文化や歴史を学修し、幅広い時代のレパートリーを身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。オルガン専攻者の学修には、オルガンの基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

<管楽器専修>

専攻楽器の独奏の学修に加え、管楽合奏・管弦楽などのさまざまな演奏形態や、楽曲とその背後にある文化や歴史を学修し、豊かな表現力と演奏技術を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。管楽器専修者の学修には、専攻楽器の基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

<打楽器専修>

専攻楽器の独奏の学修に加え、打楽器合奏・管弦楽などのさまざまな演奏形態や、楽曲とその背後にある文化や歴史を学修し、豊かな表現力と演奏技術を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。打楽器専修者の学修には、専攻楽器の基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

<弦楽器専修>

専攻楽器の独奏の学修に加え、弦楽合奏・室内楽・管弦楽などのさまざまな演奏形態や、楽曲とその背後にある文化や歴史を学修し、豊かな表現力と演奏技術を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。弦楽器専修者の学修には、専攻楽器の基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《声楽コース》

古典から近現代に至るそれぞれの様式に沿った声楽曲の発声法と歌唱法の学修に加え、歌詞の正確な発音や語学力を修得します。独唱のみならずアンサンブル能力を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。声楽コースでの学修には、基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《ヴィルトゥオーゾコース》

幅広い知識と音楽性を養い、多くのレパートリーと高度でかつ長時間の演奏に堪えうる演奏能力を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。ヴィルトゥオーゾコースでの学修には、高度な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

【音楽総合学科】

《オープンメジャーシステム》

１年次において音楽総合学科内の４つのコースの基礎的内容を幅広く学修し、その間に自分の適性や興味を確認する姿勢と、２年次からコースを選択して専門的な学修に取り組んでいこうとする意欲を持つ人材を求めています。オープンメジャーシステムでの学修には、基礎的な音楽の知識や演奏技術、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《作曲コース》

伝統的なクラシックの作曲法を学修するとともに、多様化する現代のニーズに合わせたポピュラーやジャズの作曲法、コンピュータを用いたＤＡＷの音楽制作の技法を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。作曲コースでの学修には、基本的な作曲能力、ピアノの基礎的な演奏技術、口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《音楽学コース》

音楽学のさまざまな研究分野の考え方や研究の現状を資料調査・文献調査の調査学習等を通して視野を広げ、論文作成や口頭発表の手法を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。音楽学コースでの学修には、基礎的な音楽の知識や演奏技術、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《音楽教育コース》

音楽教育活動の基盤となる演奏技術の向上と、音楽教育に関する学問的な知識と実践力を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。音楽教育コースでの学修には、基礎的な音楽の知識や演奏技術、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《アートマネジメントコース》

音楽芸術の力によって心豊かな活力ある社会を形成していくための、芸術的感性とマネジメント能力を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。アートマネジメントコースでの学修には、基礎的な音楽の知識や演奏技術、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

目　　次

１．募集学科・コース …… ３
２．募集人員 …… ３
３．出願資格 …… ４
４．試験科目 …… ４
５．試験日程 …… ５
６．出願手続 …… ６
７．合格発表 …… ８
８．入学手続 …… ８
９．学費等について …… ９
１０．新女子学生寮のご案内 …… ９
１１．その他 …… ９
ヴィルトゥオーゾコースへの志願について …… １０
ウェブ出願ガイド …… １１

学科（専攻）別試験課題

［第１年次入学試験課題］

【演奏学科】

■器楽コース

有鍵楽器専修ピアノ …… １７
有鍵楽器専修オルガン …… １７
管楽器専修 …… １８
打楽器専修 …… １８
弦楽器専修 …… １９

■声楽コース …… ２０

【音楽総合学科】

■オープンメジャーシステム …… ２１
フィックスメジャーシステム

■作曲コース …… ２２
■音楽学コース …… ２３
■音楽教育コース …… ２４
■アートマネジメントコース …… ２５

副科ピアノ

■器楽コース（管楽器、打楽器、弦楽器）、声楽コース …… ２８

［第３年次入学試験課題］

【演奏学科】

■器楽コース

有鍵楽器専修ピアノ …… ２６
有鍵楽器専修オルガン …… ２６
管楽器専修 …… ２６
打楽器専修 …… ２６
弦楽器専修 …… ２７

■声楽コース …… ２７

【音楽総合学科】

■作曲コース …… ２７
■音楽学コース …… ２８

副科ピアノ

■器楽コース（管楽器、打楽器、弦楽器）、声楽コース …… ２８

武蔵野音楽大学音楽学部外国人留学生入学試験における出願手続および選考方法等は、この要項に定めるとおりです。

本学音楽学部卒業者には、「学士(音楽)」の学位が授与されます。

武蔵野音楽大学音楽学部の第１年次または第３年次に入学を希望する外国人志願者(留学の目的をもって日本に入国する者)に対して、本入学試験を実施し、これに合格した者の入学を許可します。

第３年次に入学を希望する者で、日本の短期大学を卒業した者または日本の大学の第２年次以上を修了した者は、本入学試験ではなく、日本人と同じ入学試験を受験しなければなりません。

第３年次に入学を希望する場合、その入学資格となる母国における短期大学または大学等において、専攻した音楽の実技と同一の実技で出願することになります。

第１年次、第３年次留学生とも、入学は 2024 年４月からとなります。

１．募集学科・コース

音楽学部（４年課程）第１年次

学科名	コース名および履修システム	専修等	専攻楽器名
演奏学科	器楽コース	有鍵楽器	ピアノ、オルガン
		管楽器	フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ
		打楽器	マリンバ、打楽器、ティンパニ
		弦楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
	声楽コース		
音楽総合学科	オープンメジャーシステム		
	フィックスメジャーシステム	作曲コース	
		音楽学コース	
		音楽教育コース	演奏学科と同じ楽器、声楽
		アートマネジメントコース	

注. ヴィルトゥオーゾコース(器楽・声楽)については、10 ページの「ヴィルトゥオーゾコースへの志願について」を参照してください。

音楽総合学科には「作曲コース」、「音楽学コース」、「音楽教育コース」、「アートマネジメントコース」の４つのコースがありますが、１年次においては、オープンメジャーシステムとフィックスメジャーシステムという２つの履修システムがあり、それぞれ履修の方法が異なります。

音楽学部（４年課程）第３年次

学科名	コース名	専修	専攻楽器名
演奏学科	器楽コース	有鍵楽器	ピアノ、オルガン
		管楽器	フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ
		打楽器	マリンバ、打楽器
		弦楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
	声楽コース		
音楽総合学科	作曲コース		
	音楽学コース		

注. 第３年次入学を志願する者に限り、第１年次入学を第２志望とすることができます。この場合、選考にあたっては第１志望、次に第２志望の順に合否判定を行います。

２．募集人員

若干名

３．出願資格

１．第１年次入学志願の場合

次の(1)～(3)に該当することが必要です。

(1)日本国籍を有しない者。ただし、在留資格「永住者」を除く。

(2)次の①～③のいずれかを満たす者。

①外国において学校教育における 12 年の課程を修了し(2024 年３月までに修了見込みの者を含む)、その国において大学入学資格を有する者。

②外国において高等教育に対応する学校の課程で文部科学大臣が別に指定した者。

③そのほか上記の者と同等以上の学力があると認められた者。

(3)本学における勉学に支障のない程度の日本語能力を有する者。

(授業等はすべて日本語で行われます。)

２．第３年次入学志願の場合

次の(1)～(3)に該当することが必要です。

(1)日本国籍を有しない者。ただし、在留資格「永住者」を除く。

(2)次の①、②のいずれかを満たす者。

①外国において学校教育における 12 年の課程を修了し、さらに外国の大学等において２年以上の音楽専門課程を修了した者(2024 年３月までに修了見込みの者を含む)。

②そのほか上記の者と同等以上の学力があると認められた者。

(3)本学における勉学に支障のない程度の日本語能力を有する者。

(授業等はすべて日本語で行われます。)

４．試験科目

各学科・コース別に○印を付した試験を行います。

第１年次入学試験

学科名	コース名および履修システム		実技	課題小論文	口頭試問	副科ピアノ	作曲専攻課題	英文和訳	面接	書類審査
演奏学科	器楽コース		○	—	—	○(ピアノ専攻以外)	—	—	○	○
	声楽コース		○	—	—	○	—	—	○	○
音楽総合学科	オープンメジャーシステム		○(器楽・声楽)	○	○	—	—	—	○	○
	フィックスメジャーシステム	作曲コース	○(ピアノのみ)	—	○	—	○	—	○	○
		音楽学コース	○(器楽・声楽)	○	○	—	—	○	○	○
		音楽教育コース	○(器楽・声楽)	○	○	—	—	—	○	○
		アートマネジメントコース	○(器楽・声楽)	○	○	—	—	—	○	○

第３年次入学試験

学科名	コース名	実技	課題小論文	口頭試問	副科ピアノ	作曲専攻課題	英文和訳	面接	書類審査
演奏学科	器楽コース	○	—	—	○(ピアノ専攻以外)	—	—	○	○
	声楽コース	○	—	—	○	—	—	○	○
音楽総合学科	作曲コース	○(ピアノのみ)	—	○	—	○	—	○	○
	音楽学コース	○(器楽)	○	○	—	—	○	○	○

◇面接では事前に提出された日本語作文と、それに基づく面接試験により、日本語能力試験「N2」程度の能力があるかどうか審査します。

◇書類審査は成績証明書等によって行います。

５．試験日程

(1)試験会場　武蔵野音楽大学 江古田キャンパス(東京都練馬区羽沢 1-13-1)

(2)試験期間　2023 年 12 月２日(土)・３日(日)

(3)試験日程

【第１年次入学試験】

学科・コース・履修システム・専修			12 月２日(土)	12 月３日(日)
演奏学科	器楽コース	ピアノ	専攻実技	面接
		オルガン	専攻実技、副科ピアノ	面接
		管楽器	専攻実技、副科ピアノ	面接
		打楽器	専攻実技、副科ピアノ	面接
		弦楽器	専攻実技、副科ピアノ	面接
	声楽コース		専攻実技、副科ピアノ	面接
音楽総合学科	オープンメジャーシステム		実技、課題小論文	口頭試問、面接
	フィックスメジャーシステム	作曲コース	専攻課題、実技	口頭試問、面接
		音楽学コース	実技、課題小論文、英文和訳	口頭試問、面接
		音楽教育コース	実技、課題小論文	口頭試問、面接
		アートマネジメントコース	実技、課題小論文	口頭試問、面接

【第３年次入学試験】

学科・コース・専修			12 月２日(土)	12 月３日(日)
演奏学科	器楽コース	ピアノ	専攻実技	面接
		オルガン	専攻実技、副科ピアノ	面接
		管楽器	専攻実技、副科ピアノ	面接
		打楽器	専攻実技、副科ピアノ	面接
		弦楽器	専攻実技、副科ピアノ	面接
	声楽コース		専攻実技、副科ピアノ	面接
音楽総合学科	作曲コース		専攻課題、実技	口頭試問、面接
	音楽学コース		実技、課題小論文、英文和訳	口頭試問、面接

【第１年次入学試験・第３年次入学試験共通】

◇試験日程の詳細(試験時間等)については､11 月 24 日(金)にウェブ出願サイトで登録したメールアドレスに送信する「受験要領」で必ず確認してください。

◇実技試験の伴奏者について

①実技試験において受験曲に伴奏を付けて受験する場合、伴奏楽器はピアノに限ります。

②第１年次の演奏学科声楽コース、音楽総合学科(作曲コースを除く)で実技が声楽、第３年次の演奏学科声楽コースの実技試験については、本学で選任した者がピアノ伴奏を担当するため伴奏者を同行する必要はありません。なお、希望により伴奏者を同行することができます。この場合、本学園に勤務する大学教職員を伴奏者とすることはできません。

③第１年次の演奏学科器楽コース、第３年次の演奏学科器楽コースの実技試験において、ピアノ伴奏のある曲で受験する場合には、実技試験当日伴奏者を必ず各自で同行してください。この場合、本学園に勤務する大学教職員を伴奏者とすることはできません。

6．出願手続

手続方法等の詳細については、ウェブ出願ガイド(11〜16 ページ)を確認してください。

(1)出願期間・受験料・提出先等

出願期間	ウェブ出願(情報登録)期間：2023 年 10 月 3 日(火)10：00 から 10 月 10 日(火)23：59 まで 出願書類郵送期間：2023 年 10 月 3 日(火)消印から 10 月 12 日(木)必着まで(郵送受付のみ) ※日本国内から郵送の場合はレターパックライトで、日本国外から郵送の場合は EMS で郵送してください。

出願の流れ	①提出書類(各証明書・推薦書・作文等)の準備 ②出願者の基本情報登録 ③出願情報の登録、顔写真のアップロード ④受験料の納入 ⑤出願書類の印刷、記入、郵送

受験料	第 1 年次・第 3 年次：40,000 円
	受験料の納入について(14 ページ)を確認してください。 ＊クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーの決済方法の中からいずれかを選び、受験料を納入してください。なお、日本国外から出願する場合は、クレジットカードでの決済のみとなります。 ＊受験料の他に別途手数料が必要となります。 ＊一旦納入された受験料は返還しません。

出願書類郵送先	武蔵野音楽大学 入学者選抜事務室(学務課) 〒 176-8521　東京都練馬区羽沢 1-13-1 TEL 03-3992-1119(直通) Academic Affairs Department, Musashino Academia Musicae: Admissions Office 1-13-1, Hazawa, Nerima-ku, Tokyo, 176-8521, Japan TEL +81-3-3992-1119(direct number)

※ 2024 年度の入学試験は、原則として対面方式で実施いたします。ただし、特別な理由により対面方式での受験ができない受験者には、ICT を活用したオンライン方式での試験を検討します。オンライン方式での受験を希望される場合は、9 月 19 日(火)までに「オンライン方式受験願」を提出してください。オンライン方式での受験を本学が認めた受験生については別途、受験方法の詳細を通知いたします。
「オンライン方式受験願」の様式については本学入学者選抜事務室までお問い合わせください。

(2)出願書類

① **志願票**	ウェブ出願サイトにて情報を登録後、志願票をダウンロードし印刷してください。
② **学歴等・受験曲届**	ウェブ出願サイトにて「大学音楽学部　外国人留学生　学歴等・受験曲届」をダウンロードおよび印刷し、消えない黒のボールペンを使用して、必ず本人が手書きで記入してください。 学歴等・受験曲届ダウンロード期間：9 月 3 日〜 10 月 10 日
③ **日本語作文**	ウェブ出願サイトにて「大学音楽学部　外国人留学生　日本語作文」をダウンロードし、印刷してください。 本学を志願した理由、留学終了後の進路等について、消えない黒のボールペンを使用し、800字程度の日本語で本人が手書きで記入してください(パソコン等で作成したものは不可)。 日本語作文ダウンロード期間：9 月 3 日〜 10 月 10 日

④ **ピアノ伴奏用楽譜**	第１年次演奏学科声楽コース、第３年次演奏学科声楽コース志願者で、実技試験時に本学で選任した者によるピアノ伴奏を必要とする場合のみ(伴奏者を同行する場合は提出不要)。なお、第１年次の志願者は試験課題自由曲のみを提出してください。 １ページの大きさは、26㎝× 19㎝程度(最大 27㎝× 21㎝)または A4 縦としてください。 伴奏に便利なように､開きやすく製本してください。製本に厚紙は使用しないでください。 提出の際は表に曲名・氏名・声種を書いてください。
⑤ **作品等**	第１年次音楽総合学科作曲コースで専攻課題 Ⓐ－３、または Ⓐ－４を選択した志願者、あるいは第３年次音楽総合学科作曲コースの志願者は、提出してください。 提出の際は表に氏名を書いてください。
⑥ **卒業(修了)証明書** または **卒業(修了)見込証明書**	出身学校が発行した証明書の原本。原語１通および日本語(または英語)１通。 ※卒業証書ではありません。 第１年次入学志願者：高等学校の証明書 第３年次入学志願者：高等学校の証明書および短期大学、大学またはこれに相当する学校の証明書 卒業(修了)見込証明書を提出した場合は、合格通知を受けた後に卒業(修了)証明書を入学者選抜事務室に提出してください。 卒業証明書の原本が提出できない場合は、卒業証明書の Certified True Copy*を提出してください。 出身学校で卒業証明書が発行できない場合は、卒業証書の Certified True Copy*を提出してください。
⑦ **成績証明書**	出身学校が発行した証明書の原本。原語１通および日本語(または英語)１通。 成績証明書の原本が提出できない場合は、成績証明書の Certified True Copy*を提出してください。
⑧ **推薦書**	日本語または英語１通。 出身学校長またはこれに代わる者が作成したもの(様式は自由。推薦者の直筆サインまたは公印が押されたもの)。
⑨ **戸籍抄本**または これに代わる証明書	母国における出生や親子関係の記載がある証明書(戸口簿のコピー等)。 原語１通および日本語(または英語)１通。 証明書が提出できない場合は、証明書の Certified True Copy*を提出してください。
⑩ **パスポートのコピー**	氏名・生年月日・国籍・パスポート番号・顔写真・有効期限および日本の出入国歴が記載されたページのコピー(A4サイズ)。
⑪ **在留カードのコピー** または**住民票** (日本国内在住の場合)	在留カードの場合は、表・裏の両面のコピー(A4サイズ)を提出してください。 住民票の場合は、国籍・地域・在留資格・在留期間・在留期間満了日が記載された「住民票の写し」の原本(出願３ヶ月以内に発行されたもの)１通。

＊Certified True Copy：原本から正しく複製されたものであることを、出身学校、大使館、領事館、または公証処等の公的機関(日本語学校、翻訳会社を除く)が証明したもの。いずれも発行機関の公印が押されたもの以外は、認めません。
各証明書の日本語または英語の翻訳文については、出身学校、大使館、公証処等の公的機関により翻訳されたものを提出してください。

〔出願についての注意事項〕
※出願書類等を一括して、出願期間内に郵送してください。なお、一旦提出された書類は返還しません。
※提出する書類に記入漏れや不備がないよう出願前に必ず確認してください。
※各証明書の発行および公的機関での証明(Certified True Copy の作成)には時間がかかる場合がありますので、出願期間に間に合うように早めに書類の準備をしてください。
※いかなる理由があっても出願期間内に全ての書類が提出されない場合は受け付けませんので、ご注意ください。

７．合格発表

(1) 合否発表日　2023 年 12 月８日(金)

(2) 発 表 方 法　ウェブ出願サイトの「合否照合」で合否結果を確認してください。
(掲載期間：12 月８日(金)16：00 ～ 12 月 10 日(日)16：00)
発表直後はサイトへのアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合は、しばらくたってからアクセスしてください。
また、あわせて受験者本人に、合否通知を郵送します。なお、通知の到着は発送日以降となります。
※電話等での問い合わせには、応じられません。

８．入学手続

(1) 学費等は合格者に郵送する「2024 年度外国人留学生入学手続について」により、**2023 年 12 月 13 日(水)から 2023 年 12 月 22 日(金)15 時**までに納入してください(期間内に納入がない場合は、入学の意思がないものとして入学許可を取り消します)。

(2) 学費等のうち、授業料および施設費については、前期・後期の２回に分けて納入することができます。

(3) 一旦納入された学費等は原則として返還しませんが、2024 年３月 31 日(日)[必着] までに、書面(様式は自由)により「入学辞退届」が提出された場合に限り、入学金を除く学費等を返還します。

(4) 入学の許可を受けた者は、すみやかに留学生としての在留資格「留学」を取得またはこれに変更し、入学までに本学所定の入学手続を完了してください。本学所定の奨学金を申請するには、「留学」の在留資格が必要です。

【在留資格「留学」について】

・日本の在留資格を有していない場合は、留学ビザの取得が必要となります。本学では、希望により在留資格認定証明書(Certificate of Eligibility)の交付申請を代理で行うことができます。なお、在留資格認定証明書の交付には２～３ヶ月を要する場合があります。在留資格認定証明書が交付されたら、入学許可書等の必要書類をそろえて、本国の日本国大使館・領事館等で留学ビザの交付を受けてください。

・現在の在留資格が「留学」であり、本学への入学に際し在留期間の更新が必要な場合は、在留期間更新許可申請を行ってください。在留期間更新許可の申請は、在留期間が満了する３ヶ月前から申請することができます。また、在留期限が４月以降の場合は、現在所属する学校(日本語学校等)を卒業または退学後 14 日以内に「活動機関に関する届出(離脱)」を、また本学入学後 14 日以内に「活動機関に関する届出(移籍)」を出入国在留管理局に提出する必要があります。なお、在留資格「留学」の活動を行わずに３ヶ月以上日本に滞在する場合は在留資格取消の対象となりますので、ご注意ください。

・「留学」以外の資格(短期滞在を除く)で滞在し、在留資格を「留学」に変更を希望する場合は、在留資格変更許可申請を行ってください。在留資格の変更は、申請してから許可がおりるまでに１ヶ月を要する場合があります。

上記の申請手続に必要な書類は、入学手続完了後に郵送します。

９．学費等について

入学年次	学 年	学 科	コース	学　　費			後援会費	納入金合計（年額）
				入 学 金	授 業 料	施 設 費		
第１年次	入学年次	演奏学科	器楽・声楽	150,000 円	1,390,000 円	670,000 円	10,000 円	2,220,000 円
			ヴィルトゥオーゾ	150,000 円	1,490,000 円	670,000 円	10,000 円	2,320,000 円
		音楽総合学科		150,000 円	1,360,000 円	670,000 円	10,000 円	2,190,000 円
	２～４年次	演奏学科	器楽・声楽	—	1,390,000 円	670,000 円	10,000 円	2,070,000 円
			ヴィルトゥオーゾ	—	1,490,000 円	670,000 円	10,000 円	2,170,000 円
		音楽総合学科		—	1,360,000 円	670,000 円	10,000 円	2,040,000 円
第３年次	入学年次	演奏学科	器楽・声楽	150,000 円	1,390,000 円	670,000 円	10,000 円	2,220,000 円
		音楽総合学　科	作曲・音楽学	150,000 円	1,360,000 円	670,000 円	10,000 円	2,190,000 円
	４年次	演奏学科	器楽・声楽	—	1,390,000 円	670,000 円	10,000 円	2,070,000 円
		音楽総合学　科	作曲・音楽学	—	1,360,000 円	670,000 円	10,000 円	2,040,000 円

(1) 入学後、教育職員免許状の取得を希望する場合は、本表の他に、教職科目聴講料 100,000 円（２年次に納入。第３年次編入の場合は入学年次に納入）および所定の介護等体験費・教育実習費、教育職員免許状大学一括申請手数料が必要となります。

(2) 学芸員の資格取得を希望する場合は、本表の他に、博物館に関する科目聴講料 30,000 円（２年次に納入。第３年次編入の場合は入学年次に納入）および所定の実習費等が必要となります。

(3) 練習楽器を使用する場合には、その使用料を別に納入しなければなりません。

１０．新女子学生寮のご案内

2024 年、新たな女子学生寮が誕生します。大学キャンパスへは徒歩３分以内にあり、全室個室でプライベートな空間を確保しつつ、一人暮らしでは得られない広い共用スペースを完備しています。朝夕の食事つき（銀座スエヒロ提供）で、寮内には冷暖房を完備した快適な練習室を用意しました。エントランスにはオートロックシステムを採用し、建物周りには防犯カメラを設置して、セキュリティを高めています。各居室にはバス・トイレが別々に設置され、室内にはエアコン・ベッド・照明・机・椅子・冷蔵庫・洗濯機・インターネット環境が標準装備されており、入寮後すぐに快適な寮生活を送ることができます。

申し込み方法については、合格者に郵送する「2024 年度外国人留学生入学手続要領」でご確認ください。

なお、愛水寮は 2023 年度末をもって閉寮し、男子寮は廃止いたします。

１１．その他

(1) 本学での授業は、すべて日本語で行われます。

(2) 本学には、学業・人物ともに優れ、向学心あふれる学生に給付される「福井直秋記念奨学金」があります（音楽学部２～４年次対象）。また､外国人留学生全員を対象とした「外国人留学生学生生活支援金」の制度を設けています。

(3) 出願書類等の記載事項に虚偽があったときは、入学許可を取り消します。

(4) 第１年次および第３年次音楽総合学科音楽学コースのカリキュラムには、副科ピアノがありますので、ソナチネ程度は弾けるようにしておいてください。

ヴィルトゥオーゾコースへの志願について

外国人留学生入学試験において、第１年次演奏学科のヴィルトゥオーゾコースを志願する場合の要領は下記のとおりですが、受験を希望する際は事前に入学者選抜事務室にお問い合わせください。

入学者選抜事務室　TEL 03-3992-1119(直通)

(1) 本入学試験において、第１年次志願者に限り、本入学試験での実技試験課題の代わりに、音楽学部第１年次一般選抜Ａ日程、Ｂ日程(以下、一般選抜Ａ日程、Ｂ日程とする。)での専攻実技試験課題で受験し合格した場合、ヴィルトゥオーゾコースの受験資格を得ることができます。

(2) 本入学試験でヴィルトゥオーゾコースを志願する場合の実技試験課題(副科ピアノを含む)は、次のとおりです。
①器楽でヴィルトゥオーゾコースを志願するには、本入学試験の実技課題(17 ページから 19 ページ)の代わりに、一般選抜Ａ日程、Ｂ日程での器楽コースの専攻実技課題(副科ピアノを含む)で受験することになります。
②声楽でヴィルトゥオーゾコースを志願するには、本入学試験の実技課題(20 ページ)の代わりに、一般選抜Ａ日程、Ｂ日程での声楽コースの専攻実技課題(副科ピアノを含む)で受験することになります。

(3) (2)の試験に合格した者は、一般選抜Ａ日程(2024 年２月 18 日～ 22 日実施)のヴィルトゥオーゾコース、Ｂ日程(2024 年３月５日～７日実施)のヴィルトゥオーゾコースを志願することができます[注1)]。
なお、志願する場合は、「2024 年度 武蔵野音楽大学 音楽学部 第１年次 入学者選抜要項(総合型選抜 第１回・第２回 ／ 一般選抜 Ａ日程・Ｂ日程・Ｃ日程)」を確認してください。

(4) (2)の試験に合格した者は、一般選抜Ａ日程、Ｂ日程のヴィルトゥオーゾコースを受験する際には、一般選抜での器楽コースまたは声楽コースの専攻実技とヴィルトゥオーゾコースの専攻実技の両方の課題を受験する必要があります[注2)]。
なお、その他の試験科目については免除されます。

(5) (2)の試験に合格した者が、一般選抜Ａ日程、Ｂ日程のヴィルトゥオーゾコースに合格した場合は、改めて入学金を納入する必要はありません。なお、授業料については、本要項９ページのヴィルトゥオーゾコースの欄を参照してください。

(6) (2)の試験に合格した者は所定の入学手続きを行っている場合、一般選抜Ａ日程、Ｂ日程のヴィルトゥオーゾコースで不合格であっても、外国人留学生入学試験の合格が取り消されることはありません。

注 1) ヴィルトゥオーゾコースの試験については、「2024 年度 武蔵野音楽大学 音楽学部 第１年次 入学者選抜要項(総合型選抜 第１回・第２回 ／ 一般選抜 Ａ日程・Ｂ日程・Ｃ日程)」を参照してください。

注 2) 器楽コースまたは声楽コースの専攻実技の課題と、ヴィルトゥオーゾコースの専攻実技の課題とは異なりますので、十分注意してください。

ウェブ出願ガイド

ウェブ出願サイト
利用前の準備

次の①～⑥を用意してください。

① インターネットに接続されている端末（パソコン・スマートフォン・タブレット）

パソコン	Windows：Google Chrome/Microsoft Edge/Mozilla Firefox（各最新版） Mac：Safari（最新版）
スマートフォン・ タブレット	iPhone・iPad：Safari（最新版） Android：Chrome（アプリ最新版）

② 受信可能なメールアドレス

志願者基本情報登録の際、メールアドレスの入力が必要となります。
フリーメール（GmailやYahoo!メール）または携帯電話等のアドレスを登録してください。
なお、ドメイン「@contact.grapecity.com」、「@sbpayment.jp」からのメールを受信できるよう設定してください。
志願者基本情報の登録完了時、受験料納入完了時に登録したメールアドレスにメールが自動送信されます。
また、登録いただいたメールアドレスに入学試験に関する重要なメールを送信しますので、受信したメールは必ず確認してください。

③ PDFファイルを表示するためのアプリケーション

アドビ株式会社の「Adobe Acrobat Reader」を推奨します。

④ A4サイズが出力できるプリンタ

「志願票」「学歴等・受験曲届」「日本語作文（用紙）」等出願書類を印刷します。

⑤ 顔写真データの準備

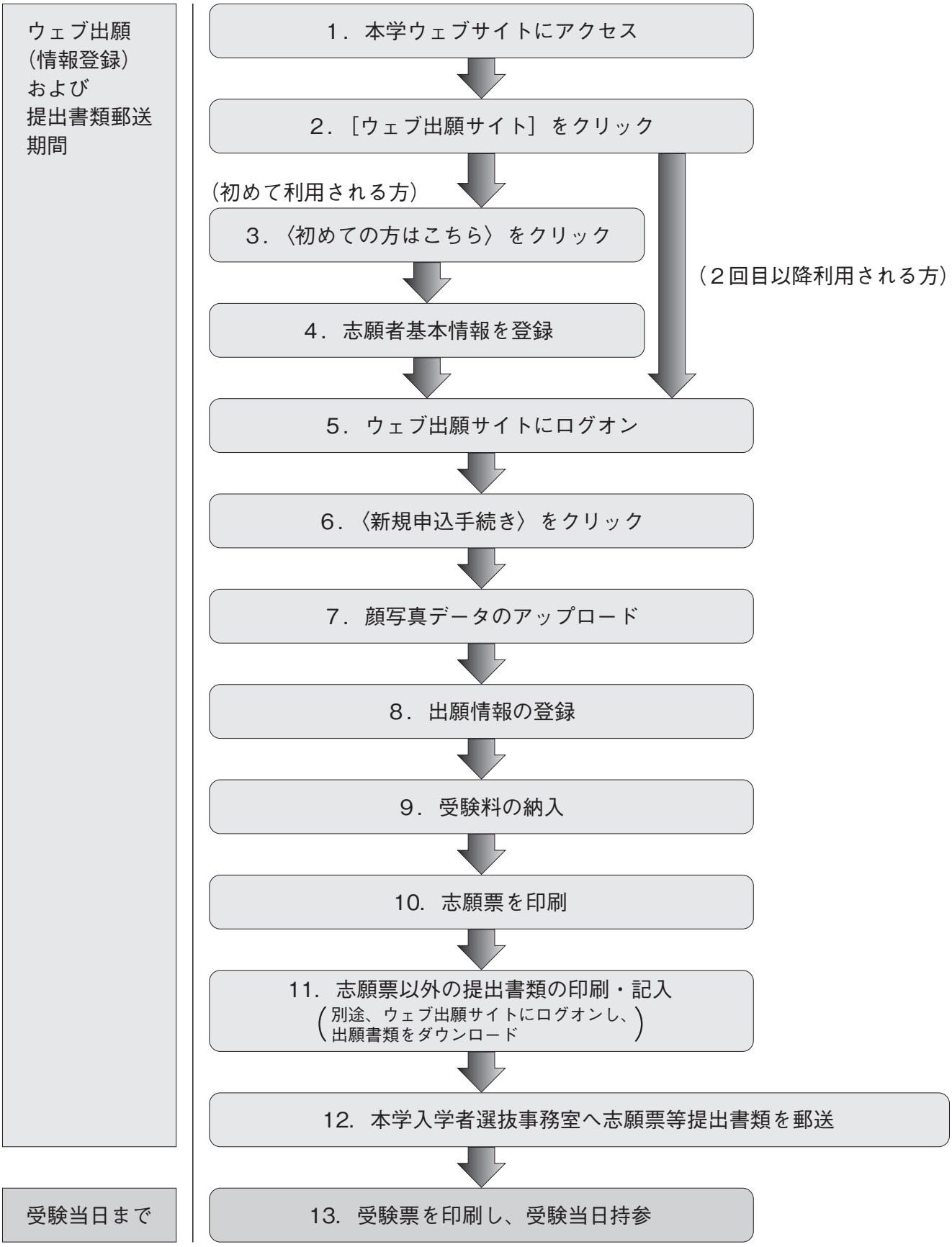
顔写真の画像（デジタルカメラやスマートフォンで撮影した画像も可）を20KB以上３MB以下のjpg、jpegまたはpng形式のデータで準備してください。

・直近３ヶ月以内に撮影したもの
・上半身、正面、脱帽、無背景（背景白、青または薄い色）
・明るく鮮明なもの

⑥ 出願書類郵送用の封筒

日本国内から郵送で出願する場合は、郵便局でレターパックライト（370円）を購入しておいてください。
日本国外から郵送する場合は、EMSで郵送してください。

ウェブ出願から受験当日までの流れ



ウェブ出願

Ⅰ．志願者の基本情報登録

① 本学ウェブサイトにアクセスし、「ウェブ出願サイト」のリンクをクリックすると、専用サイトにアクセスできます。

本学ウェブ出願サイト　　https://lsg.grapecity.com/musashino-music/app

←スマートフォン、タブレットをご利用の方は、こちらのQRコードから
本学のウェブ出願サイトにアクセスできます。

② 〈初めての方はこちら〉ボタンをクリックし、志願者の基本情報（氏名・生年月日・メールアドレス・パスワード等）を登録します。

※メールアドレス・パスワードはログオン時に必要となりますので、忘れないようお手元に記録してください。

※パスワードは８文字以上で英数字を含めたものを設定してください。

③ 登録したメールアドレスに、「仮登録完了および本登録のお知らせ（本登録用の専用URL貼付）」のメールが送信されますので、URLをクリックし本登録を行ってください。

本登録完了後、登録したメールアドレスとパスワードを入力し、ウェブ出願サイトにログオンします。

［出願］アイコンを選択し、〈新規申込手続き〉ボタンをクリックすると、「写真管理」の画面が表示されます。

Ⅱ．顔写真データのアップロード

① 「写真管理」画面にて、「◆写真アップロードの流れ」の手順に従い、顔写真データをアップロードしてください。
サイズは画面上で調整できます。
写真のアップロードが完了したら、〈次へ〉ボタンをクリックします。

② 顔写真データについて
・直近３ヶ月以内に撮影したもの
・上半身、正面、脱帽、無背景（背景白、青または薄い色）
・明るく鮮明なもの

Ⅲ．出願情報の登録

① 表示される入試区分を確認し、〈申込〉ボタンをクリックします。
② 画面に従い、出願情報を入力し、〈次へ〉ボタンをクリックしてください。
③ 入力内容に間違いがないことを確認し、〈上記内容で申込〉ボタンをクリックします。
（〈一時保存〉ボタンで入力中の内容を保存することができます。）
④ 「申込結果」画面が表示されるので、内容を確認してください。
また、〈申込内容確認書〉ボタンをクリックすると、申込内容の確認書が印刷できます。

Ⅳ．受験料の納入

① 受験料は、６ページで確認してください。
② 申込内容を確認のうえ、〈お支払い〉ボタンをクリックして受験料を決済します。
次ページのいずれかの決済方法を選択し、画面の指示に従ってください。
・受験料の納入期限は、ウェブ出願期間最終日の23：59です。
・受験料の他に手数料(決済方法により金額は異なります)が必要となります。手数料はご本人負担となります。
・日本国外から出願する場合は、クレジットカードでの決済のみとなります。
・ウェブ出願期間内に受験料の納入が確認できなかった場合は、出願情報は無効になります。
・受験料納入後は、登録内容の変更はできませんので、受験料納入前に登録内容に間違いがないか、必ず確認してください。納入後に登録内容（志願する学科・コース・楽器等以外）を変更する場合は、入学者選抜事務室（電話 03-3992-1119）まで連絡してください。

［クレジットカード］※日本国外から出願する場合はクレジットカード決済のみです。

＊クレジットカード登録と同時に決済となり、その後の変更はできませんのでご注意ください。
＊クレジットカードの名義人は志願者本人でなくても構いません。

［ペイジー］

＊金融機関ATMまたはネットバンキング

［コンビニエンスストア］

＊コンビニ決済を選択後、払込票を印刷するか払込伝票番号等を控え、選択したコンビニエンスストアで支払いを行ってください。

③ お支払いが完了すると決済完了メールが送信されます。

出願書類郵送

Ⅰ．出願書類の印刷・記入

① 受験料の決済が完了すると、「志願票」（１ページ目）、「宛名シート」（２ページ目）がダウンロード可能となります。ウェブ出願サイトにログオンし、A4サイズ、カラーで印刷してください。

② 提出する書類については、６～７ページの出願書類を確認してください。
ウェブ出願サイトにログオンし、「志願者ダウンロード」より「大学音楽学部　外国人留学生　学歴等・受験曲届」および「大学音楽学部　外国人留学生　日本語作文」（PDF）をダウンロードし、A4サイズで印刷してください。

Ⅱ．出願書類の郵送

〈日本国内から郵送の場合〉

レターパックライトの表面に「宛名シート」を貼付し、提出する書類に記入漏れや不備がないか、再度確認した後封入し、最寄りのポストに投函してください。

レターパックライトは郵便局にて購入可能（370円）です。レターパックライトの表面「はがして差出し」部分のシールを剥がし保管してください。記載されている番号にて郵便の追跡調査ができます。

〈日本国外から郵送の場合〉

提出する書類に記入漏れや不備がないか、再度確認した後封入し、EMSで郵送してください。

受験当日まで

受験票の印刷

出願書類郵送期間が終了し受付処理を行った後、受験番号を付番します。
受験票のダウンロード開始日は次のとおりです。ウェブ出願サイトにログオンし、「受験票」欄の〈印刷〉ボタンをクリックして受験票（写真付）（PDF）をA4サイズ、カラーで印刷し、点線で切り取り、試験当日、持参してください。

受験票ダウンロード開始日　　2023年11月24日（金）

合否照会

合否については、次の手順で確認できます。
①ウェブ出願サイトにログオンし、「合否照会」を選択します。
②「合否」欄の〈結果を確認〉ボタンをクリックすると、合否結果が表示されます。

〈出願に関する問い合わせ先〉
武蔵野音楽大学　入学者選抜事務室　　電話　03-3992-1119(直通)
　問い合わせ対応時間　　8：30～18：00（土日・祝日および大学休業日を除く）

〈システムに関する操作等の問い合わせ先〉
ログオン画面下の［お問合せ］をクリックし、［システム・操作に関するお問合せ］欄の［操作お問合せ］をクリックします。
チャットサポート画面下部の［メールお問合せ］よりお問い合わせください。

グレープシティ株式会社
　問い合わせ対応時間　　9：00～12：00　/　14：00～17：00（土日・祝日および弊社休業日を除く）

学科（専攻）別試験課題

外国人留学生入学試験で、第１年次および第３年次の両方を志願する場合には、第３年次入学試験課題で受験してください。その際、第１年次入学試験課題を受験する必要はありません。

◇以下に掲げる課題は、ヴィルトゥオーゾコースを志願する場合の課題ではありません。

第１年次入学試験課題

【演奏学科】

器楽コース

【有鍵楽器専修ピアノ】

専攻実技　　次のイ.およびロ.計２曲（暗譜、繰り返しなし）。
　　イ.とロ.の両方を続けて演奏する（演奏順は自由）。

イ．Chopin エチュード集 Op.10 または Op.25 から任意の１曲（ただし、Op.10-6 および Op.25-7 を除く）

ロ．任意の独奏曲（５分 ～ 10 分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、Chopin エチュードを除く）

【有鍵楽器専修オルガン】

１．専攻実技、２．副科ピアノを受験すること。

１．専攻実技　　次のイ.およびロ.計２曲（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

イ．J. S. Bach　Orgelbüchlein（オルガン小曲集）　BWV599 から BWV644 までの任意の１曲

ロ．自由曲（５分 ～ 10 分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、８分程度でカットすることがある）

※アシスタントが必要な場合は本学で用意する。試験当日にレジスタータイムを与える。

使用するオルガンの仕様（事前に練習ができます）

Pedal		Ⅰ. Hauptwerk		Ⅱ. Schwellwerk		Ⅲ. Solowerk	
1．Choralbass	4’	4．Mixtur	3f	9．Terz	1 3/5’	15. Klarinette	8’
2．Violon	8’	5．Larigot	1 1/3’	10. Octave	2’	16. Dolkan	8’
3．Subbass	16’	6．Blockflöte	2’	11. Quinte	1 2/3’		
		7．Principal	4’	12. Offenflöte	4’		
		8．Gedackt	8’	13. Rohrflöte	8’		
				14. Tremulant			

Ⅲ/Ⅱ　Ⅲ/Ⅰ　Ⅱ/Ⅰ　Ⅲ/P　Ⅱ/P　Ⅰ/P

２．副科ピアノ

Czerny　Op.740（ツェルニー 50 番）より任意の１曲（暗譜の必要なし、繰り返しなし。４分半程度でカットすることがある）

【管楽器専修】

1．専攻実技、2．副科ピアノを受験すること。

1．専攻実技　　練習曲１曲および自由曲１曲 計２曲(10 分程度、伴奏なし、暗譜の必要なし)

2．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

【打楽器専修】

1．専攻実技、2．副科ピアノを受験すること。

1．専攻実技　　自由曲(10 分程度、曲数は問わない。伴奏なし、暗譜の必要なし)

＊任意の用紙(A4 サイズ、横書)に受験者氏名、使用楽器の種類、数および楽器等の配置を記入して、出願書類とともに提出すること。

2．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

【弦楽器専修】

1．専攻実技、2．副科ピアノを受験すること。

[ヴァイオリン]

1．専攻実技　　次を受験すること。

任意の協奏曲より第１楽章または終楽章を演奏する。演奏時間は７分程度とする(暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を超えた場合はカットする)。

2．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

[ヴィオラ]

1．専攻実技　　次を受験すること。

任意の協奏曲より１つの楽章(緩徐楽章は不可)、またはそれと同程度の自由曲を演奏する。演奏時間は７分程度とする(暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を超えた場合はカットする)。

2．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

[チェロ]

1．専攻実技　　次を受験すること。

任意の協奏曲、ソナタまたは独奏曲(必ず速い楽章を含むこと。同一楽曲からの複数の楽章も可)を演奏する。演奏時間は５分 ～７分程度とする(暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を超えた場合はカットする)。

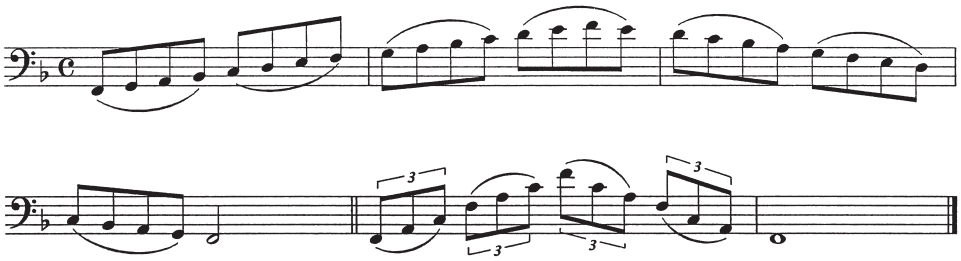
2．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

[コントラバス]

1．専攻実技　　次の Ⓐ Ⓑ 両方を受験すること。
Ⓐ Ⓑ の順で演奏する。暗譜の必要なし。

Ⓐ 音階　　任意の調を選び２オクターブの音階を演奏する。
速度、運指は自由とし、譜例のようにスラーをつけて演奏する。

例



Ⓑ イ. ロ. のうちどちらかを選択し、演奏する(伴奏なし)。
イ．任意の協奏曲の中から第１楽章、または第３楽章
ロ．任意のソナタの中から第１楽章および第２楽章

2．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

[ハープ]

1．専攻実技　　次の曲を演奏する。
F. J. Naderman　Sept Sonates Progressives より任意の１曲(繰り返しなし、A. Leduc 版または Lyra 版)

2．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

声楽コース

1．専攻実技、2．副科ピアノを受験すること。

1．専攻実技　課題曲1曲、自由曲1曲 （暗譜）

課題曲、自由曲の順に続けて演奏する。

本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

課題曲　次の(1)および(2)の中から1曲選ぶこと。調性は指定の中から選ぶこと。

(1)	・W. A. Mozart	An Chloe	ハ長調	変ホ長調		
	・Beethoven	Ich liebe dich	ホ長調	ヘ長調	ト長調	
	・Schubert	Frühlingsglaube	変ト長調	変イ長調		
	・Schumann	Die Lotosblume	変ホ長調	ヘ長調		
	・Rosa(Mancia)	Star vicino	ホ長調	ト長調	イ長調	変ロ長調
	・Rosa	Vado ben spesso cangiando loco	変イ長調	イ長調	変ロ長調	ハ長調
	・Caccini	Amor ch'attendi	ホ長調	ト長調	イ長調	
	・A. Scarlatti	Se tu della mia morte	ホ短調	ヘ短調	ト短調	
	・A. Scarlatti	Sento nel core	ニ短調	ホ短調	ヘ短調	ト短調
	・A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	ヘ長調	ト長調	変イ長調	変ロ長調
	・A. Scarlatti	Le violette	ヘ長調	変イ長調	変ロ長調	ロ長調
	・Gasparini	Lasciar d'amarti	ニ短調	ヘ短調	ト短調	
	・Gasparini	Caro laccio	変ニ長調	変ホ長調	ヘ長調	
	・Caldara	Sebben, crudele	ハ短調	ニ短調	ホ短調	
	・Durante	Vergin, tutto amor	ロ短調	ハ短調	ニ短調	
	・Paisiello	Nel cor più non mi sento	変ホ長調	ホ長調	ヘ長調	ト長調
	・Giordani	Caro mio ben	ニ長調	変ホ長調	ヘ長調	
	・Bellini	Ma rendi pur contento	変ト長調	変イ長調		
	・Bellini	Vaga luna, che inargenti	変イ長調	ハ長調		
	・Tosti	Sogno	変イ長調	変ロ長調		
(2)	・瀧　廉太郎	荒城の月(1番、2番のみ)	変ロ短調	ハ短調	ニ短調	
	・山田　耕筰	この道(1番、2番のみ)	ニ長調	ホ長調	ヘ長調	
	・信時　　潔	北秋の	変ロ長調	ハ長調	ニ長調	
	・信時　　潔	行々子	ニ長調	ホ長調	嬰ヘ長調	
	・成田　為三	浜辺の歌(1番、2番のみ)	ヘ長調	変イ長調	イ長調	
	・小松　耕輔	母	ヘ長調	変イ長調	イ長調	
	・平井康三郎	平城山	ト短調	イ短調		
	・平井康三郎	びいでびいで(繰り返しなし)	ト長調	イ長調		
	・平井康三郎	ゆりかご	ニ長調	ホ長調		
	・中田　喜直	むこうむこう	変ホ長調	ヘ長調		
	・中田　喜直	風の子供	変ニ長調	ニ長調		

2．副科ピアノ　28ページを確認のこと。

【音楽総合学科】

オープンメジャーシステム

次の１．２．３．を受験すること。

１．課題小論文(50 分)	試験場で提示する芸術文化全般に関する課題についての論述。
２．口頭試問	上記「１．課題小論文」および芸術文化全般に関する基本的な事柄について試問する。
３．実技(器楽・声楽)	器楽または声楽のいずれかを演奏する。 なお、器楽については、ピアノ、オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器の中から１つの楽器を選び、演奏する。 器楽、声楽、いずれの場合も暗譜の必要なし。

【器楽】

ピアノ ― 次の曲の中から１曲を選び演奏する(繰り返しなし。３分半程度でカットすることがある)。

イ．J. S. Bach	インヴェンションより１曲、またはシンフォニアより１曲
ロ．Kuhlau	ソナチネ　Op.20-No.1、2、3　Op.55-No.1、2、3 の中から第１楽章
ハ．Clementi	ソナチネ　Op.36-No.1、2、3、4、5、6 の中から第１楽章
ニ．Dussek	ソナチネ　Op.20-No.1　第１楽章
ホ．Haydn	ソナタ　第１楽章または終楽章
ヘ．W. A. Mozart	ソナタ　第１楽章または終楽章
ト．Beethoven	ソナタ　Op.2-1 から Op.79 までの第１楽章または終楽章

オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 ― ３分程度の任意の曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリンバ、打楽器、ティンパニ、
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

【声楽】

演奏学科声楽コースの課題曲(20 ページ(1)(2))の中から１曲を演奏する(調性は指定された中から選ぶこと)。
本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

フィックスメジャーシステム

作曲コース

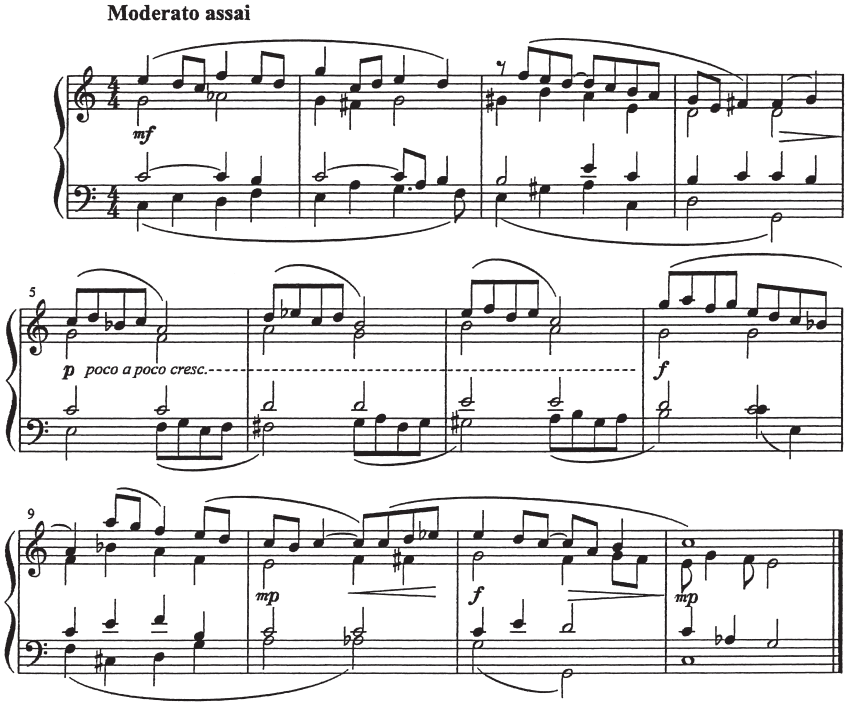
Ⓐ 専攻課題、Ⓑ 口頭試問、Ⓒ 実技(ピアノ)を受験すること。

Ⓐ 専攻課題

次の１．２．３．４.より一つを選択する。

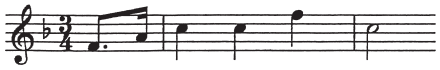
１．和声　ソプラノ課題またはバス課題(２時間)。

和声課題　解答例

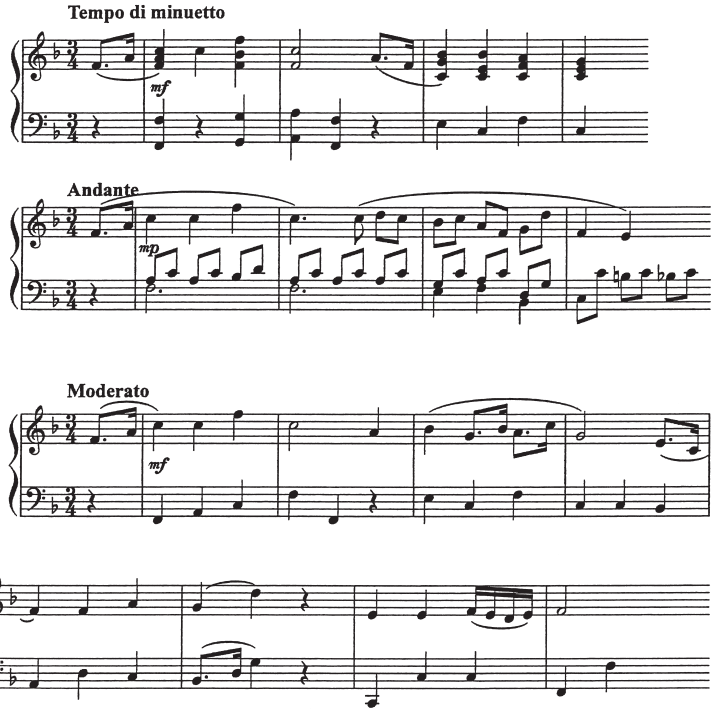


２．作曲　与えられた動機による任意の形式のピアノ曲を作る(３時間)。

出題動機例



解答楽曲例



3．作品提出　出願時に、自作品の楽譜とその解説(200 字程度)を提出する。
作品の形態(器楽曲、声楽曲)は自由。
4．音源提出　出願時に、自作品の録音(オーディオ CD)とその解説(200 字程度)を提出する。
作品の形態(器楽曲、声楽曲)は自由。

Ⓑ 口頭試問　Ⓐに関する質問が中心となる。
なお、口頭試問の時間は、
Ⓐ－１．２．を選択した者は 15 分
Ⓐ－３．４．を選択した者は 20 分
とする。

Ⓒ 実技(ピアノ)
次の曲の中から１曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。４分程度でカットすることがある)。
イ．J. S. Bach　平均律クラヴィーア曲集第１巻、第２巻(フーガのみ)
ロ．Haydn　ソナタ　第１楽章または終楽章
ハ．W. A. Mozart　ソナタ　第１楽章または終楽章
ニ．Beethoven　ソナタ　Op.2-1 から Op.79 までの第１楽章または終楽章。
ただし、Op.27-2 の第１楽章は除く。

音楽学コース

次の１．２．３．４．を受験すること。
１．課題小論文(90 分)　音楽を主題とする日本語の小論文を課し、文章表現力・論理的思考力を判定する。
２．口頭試問　上記「１．課題小論文」および音楽全般に関する基本的な事柄について試問する(日本語)。
３．英文和訳(90 分)　英語の文章を日本語に翻訳する。
※語学辞書の使用可。ただし、電子辞書の使用は認めない。
４．実技(器楽・声楽)　器楽または声楽のいずれかを演奏する。
なお、器楽については、ピアノ、オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器の中から１つの楽器を選び、演奏する。
器楽、声楽、いずれの場合も暗譜の必要なし。

【器楽】

ピアノ ― 次の曲の中から１曲を選び演奏する(繰り返しなし。３分半程度でカットすることがある)。
イ．J. S. Bach　インヴェンションより１曲、またはシンフォニアより１曲
ロ．Kuhlau　ソナチネ　Op.20-No.1、2、3　Op.55-No.1、2、3 の中から第１楽章
ハ．Clementi　ソナチネ　Op.36-No.1、2、3、4、5、6 の中から第１楽章
ニ．Dussek　ソナチネ　Op.20-No.1　第１楽章
ホ．Haydn　ソナタ　第１楽章または終楽章
ヘ．W. A. Mozart　ソナタ　第１楽章または終楽章
ト．Beethoven　ソナタ　Op.2-1 から Op.79 までの第１楽章または終楽章

オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 ― ３分程度の任意の曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。
オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリンバ、打楽器、ティンパニ、
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

【声楽】

演奏学科声楽コースの課題曲(20 ページ(1)(2))の中から１曲を演奏する(調性は指定された中から選ぶこと)。
本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

音楽教育コース

次の１．２．３．を受験すること。

１．課題小論文(50 分)	教育または音楽教育に関する小論文を課す。
２．口頭試問	上記「１．課題小論文」および音楽教育の基本的な事柄について試問する。
３．実技(器楽・声楽)	器楽または声楽のいずれかを演奏する。 なお、器楽については、ピアノ、オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器の中から１つの楽器を選び、演奏する。 器楽、声楽、いずれの場合も暗譜の必要なし。

【器楽】

ピアノ ― 次の曲の中から１曲を選び演奏する(繰り返しなし。３分半程度でカットすることがある)。

イ．J. S. Bach	インヴェンションより１曲、またはシンフォニアより１曲
ロ．Kuhlau	ソナチネ　Op.20-No.1、2、3　Op.55-No.1、2、3 の中から第１楽章
ハ．Clementi	ソナチネ　Op.36-No.1、2、3、4、5、6 の中から第１楽章
ニ．Dussek	ソナチネ　Op.20-No.1　第１楽章
ホ．Haydn	ソナタ　第１楽章または終楽章
ヘ．W. A. Mozart	ソナタ　第１楽章または終楽章
ト．Beethoven	ソナタ　Op.2-1 から Op.79 までの第１楽章または終楽章

オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 ― ３分程度の任意の曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリンバ、打楽器、ティンパニ、
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

【声楽】

演奏学科声楽コースの課題曲(20 ページ(1)(2))の中から１曲を演奏する(調性は指定された中から選ぶこと)。
本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

アートマネジメントコース

次の１．２．３．を受験すること。

１．課題小論文(50 分)	試験場で提示する芸術文化全般に関する課題についての論述。
２．口頭試問	上記「１．課題小論文」および芸術文化全般に関する基本的な事柄について試問する。
３．実技(器楽・声楽)	器楽または声楽のいずれかを演奏する。 なお、器楽については、ピアノ、オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器の中から１つの楽器を選び、演奏する。 器楽、声楽、いずれの場合も暗譜の必要なし。

【器楽】

ピアノ ― 次の曲の中から１曲を選び演奏する(繰り返しなし。３分半程度でカットすることがある)。

イ．J. S. Bach	インヴェンションより１曲、またはシンフォニアより１曲
ロ．Kuhlau	ソナチネ　Op.20-No.1、2、3　Op.55-No.1、2、3 の中から第１楽章
ハ．Clementi	ソナチネ　Op.36-No.1、2、3、4、5、6 の中から第１楽章
ニ．Dussek	ソナチネ　Op.20-No.1　第１楽章
ホ．Haydn	ソナタ　第１楽章または終楽章
ヘ．W. A. Mozart	ソナタ　第１楽章または終楽章
ト．Beethoven	ソナタ　Op.2-1 から Op.79 までの第１楽章または終楽章

オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 ― ３分程度の任意の曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリンバ、打楽器、ティンパニ、
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

【声楽】

演奏学科声楽コースの課題曲(20 ページ(1)(2))の中から１曲を演奏する(調性は指定された中から選ぶこと)。
本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

第３年次入学試験課題

【演奏学科】

器楽コース

【有鍵楽器専修ピアノ】

専攻実技　　次のイ. およびロ. 計２曲(暗譜、繰り返しなし)
　　イ. とロ. の両方を続けて演奏する(演奏順は自由)。

イ．Chopin エチュード集 Op.10 または Op.25 から任意の１曲(ただし、Op.10-6 および Op.25-7 を除く)

ロ．任意の独奏曲(同一作曲家で複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。なお、Chopin エチュードを除く。８分程度でカットすることがある)

【有鍵楽器専修オルガン】

１．専攻実技、２．副科ピアノを受験すること。

１．専攻実技　　次のイ. およびロ. 計２曲(暗譜の必要なし、繰り返しなし)。

イ．J. S. Bach　Schübler-Choräle　BWV645 から BWV650 までの任意の１曲

ロ．自由曲(５分 ～ 10 分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、８分程度でカットすることがある)。

※アシスタントが必要な場合は本学で用意する。試験当日にレジスタータイムを与える。

使用するオルガンの仕様（事前に練習ができます）

Pedal		Ⅰ. Hauptwerk		Ⅱ. Schwellwerk		Ⅲ. Solowerk	
1．Choralbass	4’	4．Mixtur	3f	9．Terz	1 3/5’	15. Klarinette	8’
2．Violon	8’	5．Larigot	1 1/3’	10. Octave	2’	16. Dolkan	8’
3．Subbass	16’	6．Blockflöte	2’	11. Quinte	1 2/3’		
		7．Principal	4’	12. Offenflöte	4’		
		8．Gedackt	8’	13. Rohrflöte	8’		
				14. Tremulant			

Ⅲ/Ⅱ　Ⅲ/Ⅰ　Ⅱ/Ⅰ　Ⅲ/P　Ⅱ/P　Ⅰ/P

２．副科ピアノ　任意の１曲（暗譜の必要なし、繰り返しなし。４分半程度でカットすることがある）

【管楽器専修】

１．専攻実技、２．副科ピアノを受験すること。

１．専攻実技　　練習曲１曲および自由曲１曲 計２曲(10 分程度、伴奏なし、暗譜の必要なし)

２．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

【打楽器専修】

１．専攻実技、２．副科ピアノを受験すること。

１．専攻実技　　自由曲(10 分程度、曲数は問わない。伴奏なし、暗譜の必要なし)
　　＊任意の用紙(A4 サイズ、横書)に受験者氏名、使用楽器の種類、数および楽器等の配置を記入して、出願書類とともに提出すること。

２．副科ピアノ　28 ページを確認のこと。

【弦楽器専修】

1．専攻実技、2．副科ピアノを受験すること。

すべての弦楽器とも、ピアノ伴奏のある曲で受験する場合は、試験当日必ず伴奏者を同行すること(本学園に勤務する大学教職員は不可)。

1．専攻実技　　練習曲１曲および自由曲１曲 計２曲(暗譜)

2．副科ピアノ　28ページを確認のこと。

声楽コース

1．専攻実技、2．副科ピアノを受験すること。

1．専攻実技　　オペラ、コンサートアリア、オラトリオまたはカンタータのアリア１曲および自由曲１曲　計２曲(暗譜、演奏順は自由)

本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

＊受験曲届の記入に際しては、作曲者名、演奏曲目(オペラ等のタイトルおよびアリア名)を原語で記入すること。

2．副科ピアノ　28ページを確認のこと。

【音楽総合学科】

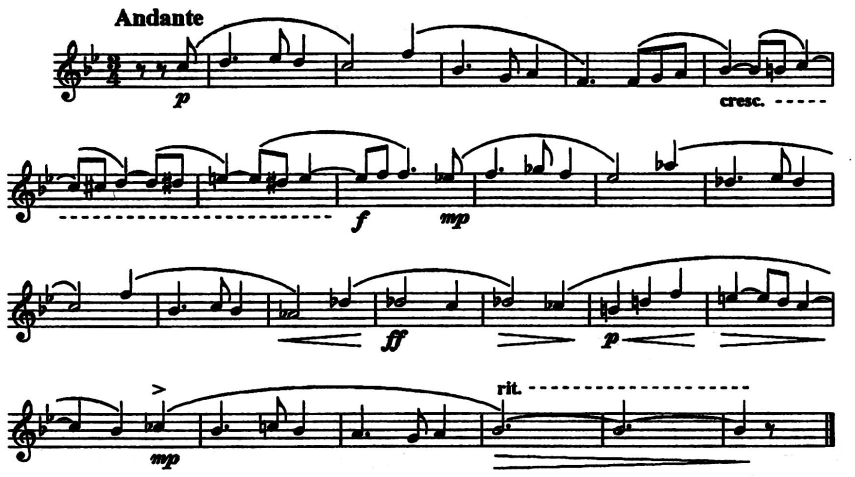
作曲コース

次の1．2．3．を受験すること。

1．専攻課題　　次のイ．およびロ．

イ．和声(３時間)　ソプラノ課題、またはバス課題。

例題



ロ．作品提出　　任意の楽曲１曲。楽譜提出を基本とし、音源(オーディオCD)を添えても良い。出願時に提出すること。

2．口頭試問　　「1．専攻課題　イ．ロ．」に関する質問が中心となる。

3．実技(ピアノ)　任意の１曲を演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。４分半程度でカットすることがある)。

音楽学コース

次の１．２．３．４．を受験すること。

１．課題小論文(90 分)　音楽を主題とする日本語の小論文を課し、文章表現力・論理的思考力を判定する。

２．口頭試問　上記「１．課題小論文」および音楽全般に関する基本的な事柄について試問する(日本語)。

３．英文和訳(90 分)　英語の文章を日本語に翻訳する。
※語学辞書の使用可。ただし、電子辞書の使用は認めない。

４．実技(器楽)　次の a), b)のいずれか１つを選択する。

a)ピアノ ― 任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。３分半程度でカットすることがある)。

b)オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 ― 次の楽器の中から１つを選び、３分程度の任意の独奏曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリンバ、打楽器、ティンパニ、
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

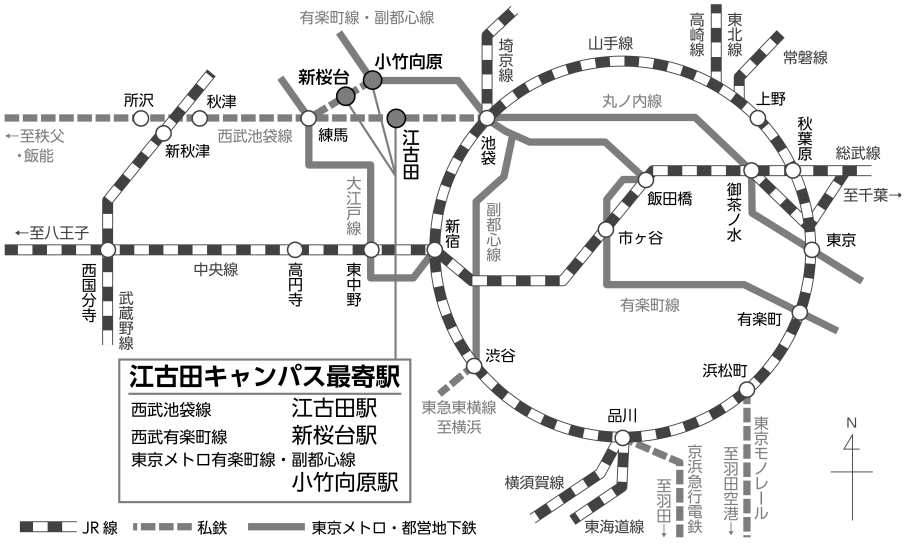
２．副科ピアノ　(第１年次、第３年次入学試験共通課題)

第１年次、第３年次【演奏学科 器楽コース(管楽器、打楽器、弦楽器)、声楽コース】

次の曲の中から１曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。３分半程度でカットすることがある)。

イ．J. S. Bach　インヴェンションより１曲、またはシンフォニアより１曲
ロ．Kuhlau　ソナチネ　Op.20-No.1、2、3　Op.55-No.1、2、3 の中から第１楽章
ハ．Clementi　ソナチネ　Op.36-No.1、2、3、4、5、6 の中から第１楽章
ニ．Dussek　ソナチネ　Op.20-No.1　第１楽章
ホ．Haydn　ソナタ　第１楽章または終楽章
ヘ．W. A. Mozart　ソナタ　第１楽章または終楽章
ト．Beethoven　ソナタ　Op.2-1 から Op.79 までの第１楽章または終楽章

交通案内



江古田キャンパス

- 西武池袋線 江古田駅北口よりキャンパスまで徒歩4分
- 西武有楽町線 新桜台駅4番出口よりキャンパスまで徒歩4分
- 東京メトロ有楽町線・副都心線 小竹向原駅2番出口よりキャンパスまで徒歩9分

問い合わせ先

問い合わせ先	問い合わせ内容	電話番号
入学者選抜事務室[学務課]	入学試験全般について	03-3992-1119
学生・就職課	奨学金、学寮について	03-3992-1129
経理課	授業料、納入金、寮費について	03-3992-1254
広報室	入学者選抜要項請求	03-3992-1125

武蔵野音楽大学

江古田（えこだ）キャンパス　〒176-8521 東京都（とうきょうと）練馬区羽沢（ねりまくはざわ）1-13-1

武蔵野音楽大学ウェブサイト　https://www.musashino-music.ac.jp/